

第494回 （12月定例）福崎町議会

福崎町長 尾崎吉晴

皆さんおはようございます。本日は、第494回定例議会を招集しましたところ、全員のご出席を賜りありがとうございます。

暦の上では冬であります。爽やかな天気が続いています。本年も残すところ1か月を切りましたが、令和2年は思いもよらなかったことが次々に起こりました。

その一つ目は新型コロナウイルスの出現です。感染拡大が止まりません。第一波であった4月には緊急事態宣言を発令し、経済活動を一時的に止めて感染拡大を力づくで抑え込みました。徐々に経済活動を再開しますと7月から8月にかけて第二波が到来し、この時期は若い世代を中心に多くの感染者が出ました。そして、その第二波が収まり切らないところに第三波が押し寄せています。最近では幅広い世代に、また、地方での感染が広がっており、そのスピードが加速しています。そういった中、「Go To トラベル」や「Go To イート」などの運用を見直すとの発表がありました。

住民の命と暮らしを守ることを第一に考えていかなければなりません。同時に経済活動とどうバランスをとるかが問われています。今が正念場ではないかと思えます。ここはもう一度、「三密を避ける」「ソーシャルディスタンスを確保する」「マスクを着用する」「手洗いをしっかりと行う」などのひょうごスタイルを徹底することが重要ではないかと考えています。住民の皆様にもしっかりと呼びかけてまいります。

二つ目は安倍首相が9月に体調不良により辞任されたことです。辞意表明後、党の総裁選挙、国会の内閣総理大臣指名選挙を経て菅義偉総理大臣が誕生しました。退陣があったとしても自民党総裁としての任期を全うしてからだと思っていたので驚きました。

10月に行われた第203回臨時国会において、菅内閣総理大臣の所信表明が行われました。その演説内容の一点目は、「新型コロナウイルス対策と経済の両立」であります。新型コロナウイルスから国民の健康と命を守りながら経済活動も動かしていこうとのことですが、現状をみますとコロナ対策のほうに重点を移さなければならない状況になっているように思えます。

二点目は、「デジタル社会の実現」であります。このたびのコロナ禍により我が国のデジタル化、ICT化が遅れていることが明らかになりました。今後5年で自治体のシス

テムの統一・標準化を行うとしています。政府が進める行政のデジタル化と小中学校のGIGAスクール構想の推進に町としてもしっかりと取り組んでまいります。

三点目は、「グリーン社会の実現」であります。2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにすることを宣言されました。このことは確実にできるだけ早く実現すべき最重要の課題であります。私は、住民の命と暮らしを守ること、すなわち安全、安心な暮らしを実現することが自治体の最も重要な責務であると考えます。近年、全国各地で大雨による災害が頻発していますが、これは地球温暖化の影響によるところが大きいのではないかと考えます。河川整備を進めることも砂防・治山ダムを造ることも大事であります。けれども根本的なところは、温室効果ガスの排出量を減らし地球環境を守っていくことではないでしょうか。次の世代のためにもこのことは私たちの世代の責任であります。神崎郡ごみ処理施設の建設に向けてもこの視点を重要視しながら進めていきます。

四点目は、「活力ある地方を創る」であります。菅首相は、「東京圏、一都三県の消費額は全国の三割にすぎない。観光や農業改革などにより、地方への人の流れをつくり、地方の所得を増やし、地方を活性化し、それによって日本経済を浮上させる。」としています。昨年の官房長官時代に講演を聞く機会があり、そのときに地方創生の肝は観光と農業振興だとおっしゃっていたことを思い出しました。私たちもその流れに沿った施策を考えていく必要があります。

五点目は、「新たな人の流れをつくる」であります。現在は東京一極集中、東京の一人勝ちといった様相ですが、そのような中でパソナグループの本社機能を淡路島に移すといった報道がありました。デジタル社会が進んでいくと都会から地方へという流れが進むのかもしれませんが。仕事はテレワークで行い、物価が安く自然環境が良い、住みやすい地方で生活をする。いろいろな意味で地方が見直される時代が来るかもしれないと期待を持ったところでもあります。

その他にも社会保障のことなど何点か触れられていますが、今後も国・県の動向を注視しながら町政に取り組めます。

今年に入ってうれしい出来事もありました。JR福崎駅前の町有地に10月22日、ウェルシア薬局がオープンしました。生活用品や食料品も揃っているので近隣の方は大変便利になったのではないのでしょうか。また、県指定重要文化財である大庄屋三木家住宅の副屋と蔵が宿泊施設とレストランとして、11月1日にプレオープンしました。事前の予約も順調とのことで喜んでいきます。

今年の8月にアエラという雑誌で、コロナ時代の移住先ランキングという特集があり、

福崎町が近畿地区第1位に選ばれました。実際に移住先に選んでいただけるように議員の皆様、住民の皆様と力を合わせて、コロナに負けない、活力のある、住みよい町づくりを進めてまいります。

続いて、各課からの行政報告です。

【総務課】

令和2年度職員採用試験の第2次試験を11月13日に実施しました。一般行政職は、10人が受験し、合格1人、補欠合格3人、不合格6人となりました。保健師は、1人が受験し、合格1人となりました。

会計年度任用職員の募集について、町広報誌、回覧文書などでお知らせしていますが、募集期間は12月18日から28日までです。なお、試験日は1月8日です。

次に、選挙管理事務についてですが、福崎町財産区議会議員選挙執行日は令和3年3月21日に、福崎町議会議員選挙執行日は令和3年4月25日に決定しました。

選挙人名簿の定時登録者数は、12月1日の基準日現在、男7,414人、女8,058人、計15,472人となり、前回の9月基準日より19人の減となっています。

【企画財政課】

11月11日に令和3年度予算編成指示会議を開催し、予算編成方針を提示しました。

私からは、町の設計図である予算について、コロナ禍はピンチであるが、その対策をした上で町制65周年記念行事を行うということ、コロナ禍に萎縮するのではなく、アフターコロナを見据えた予算編成に取り組み、活力にあふれ 風格のある 住みよいまち、に向け予算組みするよう指示をしました。

昨日、第6次行政改革大綱及び実施計画について、第2回目の行政改革懇話会を開催し、原案に対し委員の皆様からご意見を頂戴しました。今後、12月中旬以降から1月にかけてパブリックコメントを実施し、その意見等を反映して最終の案をとりまとめます。

【税務課】

国民健康保険税の滞納者で短期保険証の発行となる方を対象に、11月4日から11日にかけて、納税相談を実施しました。対象者は169人で、期間中30人の窓口相談がありました。今後も随時納税相談に応じていきます。

今後、年末にむけて町税の滞納者を対象に、姫路県税事務所と合同で一斉催告を行います。これに対して何の反応も示さない方に対して夜間電話催告を実施し、それでもな

お連絡の取れなかった方などを対象に、夜間臨戸徴収を実施することで滞納額の減少に努めます。

【地域振興課】

「福崎〇〇まるしえ」を12月6日、駅前交流広場で開催します。ソーシャルディスタンスの確保に努め、広場入口や出店前には消毒器を設置するなど、「ひょうごスタイル」で実施します。また、飲食物はテイクアウト方式にするなど、感染症対策を徹底し実施いたしますので、是非、お立ち寄りください。

町内の店舗・事業所などの事業継続を支援するため、新型コロナウイルス感染症予防対策の取組に必要な消耗品、備品などの購入費を支援する「新型コロナウイルス感染症予防対策支援事業補助金」の申請を2月15日まで、受け付けています。

スマートフォンを使った、統合型観光アプリの開発を進めています。「福崎を知る」、「福崎を歩く」、「福崎を遊ぶ」をテーマとして、町の観光資源・文化施設・特産品等の魅力を紹介し、観光客が楽しく周遊できるようなサポートやナビ機能などを搭載させ、誘客及び観光振興の促進を図ります。

【住民生活課】

12月1日から10日まで、年末の交通事故防止運動を展開し、各種のキャンペーンを実施しています。

消防団の活動としましては、消防団非常呼集訓練を11月1日、早朝に実施し、秋季全国火災予防運動に先駆け町内防火パレードを実施しました。12月26日から30日まで、消防団年末特別警戒を実施します。また、来年1月10日に消防団出初め式を田原小学校で開催します。このたびは、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、来賓の臨席はご遠慮いただき、簡略化して実施します。

【健康福祉課】

11月22日に、今年度最後のまちぐるみ健診を実施しました。今年度は全体で2,498人が受診されました。

12月1日に、第3回介護保険事業運営協議会を開催し、来年度から3年間の第8期事業計画の基本目標や保険料等について、中間報告を行い審議していただきました。

第3次福崎町障がい者プランについては、12月8日に第3回障害者福祉施策推進協議会を開催し、計画の素案を審議していただきます。

高齢者のインフルエンザ予防接種については、本年度に限り、65歳以上の方全員を無料とし、10月23日から接種を開始しました。また、引き続き中学3年生までの子どもに対する、インフルエンザ予防接種費用の一部助成も実施しています。

【農林振興課】

10月20日、神河町グリンデルホールにおいて神崎郡農業委員会協議会の研修が郡内農業委員約70名参加のもと開催されました。

講演では、農業委員会の設置の目的、機能と役割を踏まえ、農家の高齢化や担い手不足による遊休農地の増加等の課題解決に向けた集落での話し合いの重要性や、それに向けた農業委員会の取り組みについて学びました。

県営高岡福田地区ほ場整備事業では、第3工区の工事に着手しました。令和3年の水稲作付を目指し、工事が進められています。

松くい虫被害対策として、景観伐倒対策事業を福田地区の山林で着手します。

【まちづくり課】

都市計画道路福崎駅田原線の法線見直しについては、県と協議の上、行程を見直しました。令和3年度の都市計画変更と事業着手に向け、地元説明や国、県との協議、都市計画審議会の開催など必要な手続きに取り組みます。

町道橋の補修については、福崎町橋梁長寿命化修繕計画に基づき、佐本橋、大内橋などの補修工事や定期点検を実施しています。

「福崎町・姫路市連携コミュニティバス、ふくひめ号」は、今年度までの社会実験の結果を踏まえ、令和3年度からの本格実施に向け、姫路市等関係機関との協議を進めます。市川水系の防災・減災対策では、県が七種川のJR橋梁付近などの堆積土砂撤去工事に着手しました。今後も国、県に河川の改修や適切な維持管理に関する予算確保など要望を行います。

【上下水道課】

水道事業では、昨年度に引き続き東部工業団地配水池送水管更新工事を行います。また、現在施工中の辻川山配水池改修工事では、コンクリート構造物補修工事の完了後に防水塗装工事を実施します。

下水道汚水整備では、福崎浄化センターの膜カートリッジ更新工事を実施します。また、福崎工業団地・企業団地においては、必要がなくなった旧污水管の閉塞工事を実施します。

農業集落排水事業では、今後、6施設の補修・改修におけるコスト算定のための、「最適整備構想計画」の策定を進めています。

雨水整備では、南田原地区の川すそ雨水幹線工事その9が間もなく完了します。引き続き、下流部分の工事に着手します。

また、福田地区では、直谷第2雨水幹線工事を進めています。早期完了を目指して取り組んでいきます。

【工業団地整備室】

東部工業団地造成事業は、県土地開発公社に工事や施工監理業務を委託し、今年度中の完了を目指して取り組んでいます。現在、調整池の築造を中心として、工事を進めています。

【学校教育課】

福崎小学校北校舎の改修工事に着手しています。11月に足場を設置し、外壁工事に着手しました。これから、外側の窓などの建具を複層ガラスに替える工事を実施します。児童や関係者の安全を第一に工事を進めます。

給食センターでは、令和3年度から3年間の調理業務と配送業務を委託する業者を、現在受託しているコーベフーズ株式会社に決定しました。これからも、児童生徒に安全・安心な給食を提供していきます。

GIGAスクール事業として町内の小中学校におけるICT環境を整備しています。校内の通信ネットワークの構築、児童生徒1人1台端末と電源キャビネットの購入などハード面での整備はほぼ目途がつかしました。

今後は授業支援ソフトの活用方法や、1人ひとりに適した学習方法の構築などソフト面が中心となります。有意義で効果的な使用をめざします。

【社会教育課】

12月5日に開催を予定していた「人権・青少年健全育成フェスティバル」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、小中学生の主張、体験発表を中止し、人権ポスターや人権標語等を文化センター小ホールに展示します。また、障害者週間の普及・啓発を目的に募集したポスター作品も、併せて展示をします。

令和2年度の成人式を、来年1月11日(成人の日)に文化センターで開催します。企画運営につきましては、各中学校から紹介を受けた新成人で組織する実行委員会において検討いただいているところです。

歴史民俗資料館では、8月1日から11月29日まで、町内に残存する戦争資料として、戦時中に使用されていた日用品や兵士の所持品などを展示した企画展「戦後75年 福崎と戦争の歴史をつむぐ」を行いました。例年開催している、岩田健三郎さんを講師に招いた版画教室は、12月6日に開催します。

柳田國男・松岡家記念館では、松岡映丘が描いた、勇壮な武士の絵を中心に紹介する画稿展「映丘が描いた歴史画」を、10月3日から11月29日まで開催しました。

大庄屋三木家住宅では、6代当主 三木通明が江戸へ旅した道のを「江戸紀行～三木通明、江戸へ行く」と題した特別展示を12月6日まで開催しています。

また、三木家住宅の副屋及び辻川界限歴史・文化館につきましては、11月から宿泊・飲食施設としての活用が始まっています。今後も、指定管理者と連携を図りながら、文化財の保存・活用を推進してまいります。

エルデホールでは、兵庫県芸術文化協会の支援を受け、優れた舞台芸術を身近に鑑賞、体験できる取り組みとして、県民芸術劇場「淡路人形芝居と落語」を12月20日に上演します。

さて、今議会に提出した議案は20件です。

(略)

以上、人事案件が1件、条例制定が3件、条例改正が3件、補正予算が8件、その他5件の全20件となっています。

詳細説明は、副町長、担当課長が行いますのでご審議賜りご賛同いただきますようよろしくお願い申し上げます。冒頭あいさつといたします。